

interview

中澤 将元
な か ざ わ ま さ も と
工事部 営業工事課

大阪営業所の立ち上げに1人で挑む中澤将元さん。夏原株式会社への入社前に厳しい環境で培った営業経験や、前職の現場で抱いた職人への敬意を胸に、新たな地で信頼を築く中澤さんの熱い挑戦に迫ります。

現在の仕事内容と、大阪での取り組みについて教えてください。

現在は工事部営業工事課に所属し、新拠点となる大阪営業所の立ち上げに取り組んでいます。まだ始動したばかりの段階のため、まずは現場ありきの姿勢を徹底しています。協力会社の職人さん一人ひとりと直接顔を合わせて言葉を交わし、名前を覚えてもらいながら丁寧にフォローを重ねるのがメインの動きです。

並行して、既存顧客の引き継ぎや新規営業にも

注力しています。これらを半年ほどかけて進め、関西での強固な足場を築くつもりです。

これまでの社会人人生で最も印象に残っているのは、どのようなご経験ですか。

1つ目は、13～14年前に外資系損害保険会社で行っていた新規のBtoB営業です。1日に何十件も電話をかけてアプローチするものの、断られ続ける日々は厳しいものでした。それでも「負けたくない」という思いで食らいつき、能力アップスクールへ通ってコミュニケーションを体系的に学ぶなど、試行錯誤しました。その結果、契約までのストーリーを自分で描く楽しさに気づいたのです。この厳しい経験を通して、困難な状況を乗り越える精神力を培いました。



▲大阪営業所

2つ目は、前職の建設会社での経験です。営業から施工管理、実際の職人仕事、さらには請求業務に至るまで、現場のすべてを一貫して担いました。その中で、長年経験を積んできた職人さんたちが手掛ける仕上がりの美しさに感動したのです。どれだけ私が努力を重ねても、職人さんたちの仕上がりには到底及びません。不器用な自分がその道を極めることの難しさを痛感し、職人さんを支える立場で働きたいという思いで今に至ります。

仕事をする上で大切にされていることをお聞かせください。

大切にしているのは、「早く行きたければ1人で進め、遠くへ行きたければみんなで進め」というアフリカの格言です。過去の私は、責任感から自分がやらねばと仕事を抱え込んでしまい、精神的にも行動面でも限界が来てしまうことがありました。しかし、長く走り続けるためには、周囲との関わりが欠かせません。学生時代に取り組んだラグビーでも、体格の勝る相手に勝つためには、全員で呼吸を合わせるスクラムが必要でした。現場も同様で、1人でできる範囲には限界があります。1人で延々と走り続けるよりも、みんなで賑やかに声を掛け合いながら走るほうが、はるかに長く、遠くまで進めるはずですよ。

また、個人的に「後悔よりも反省」という言葉を心に留めています。悩んで何もしないよりも、

自分で結論を決めてチャレンジしていく。そしてつまづいたら反省し、そこから学びを得て改善していくことを大切にしています。

今後の展望と、これから関わる職人の皆さんへのメッセージをお願いします。

大阪での挑戦に、ファーストペンギンの心意気で飛び込んでいきます。行く先々で皆さんからいただくアドバイスを真摯に受け止めながら、この営業所をいつか支店と呼べる規模へ拡大させるのが目標です。そのためにも、新たな協力会社の皆さんを募り、引き継ぎをしながら仲間を増やしていければと思っています。

現場がスムーズに回るよう検査などをしっかり行いながら、皆さんの邪魔にならないよう、全力を尽くしてまいります。ときには同じ質問を重ねてしまうこともあるかもしれませんが、ご容赦いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

謙虚な姿勢と現場への熱意を併せ持つ中澤さん。その徹底した現場第一の姿勢とチームを重んじる心は、関西の地に強固な協力関係を築く力となります。仲間とスクラムを組み、一歩ずつ進む中澤さんの挑戦は始まったばかりです。



▲大阪営業所

一緒に働きたい人って どんな人？

「一緒に働きたい」 と思う人物像

ミスを隠さず共有する

私が一緒に働きたいのは、ミスやトラブルを隠さず共有できる人です。現在担当する内装仕上げ作業は、後からでは取り返しがつかなくなるため、早めに打ち明けて改善へと繋げる姿勢が求められます。前職では職長が自己流で進め、仕上がった部分をすべて壊してやり直しになった経験がありました。その教訓から、不安なことはまず周囲に確認する大切さを実感しています。

自分自身を振り返ると...？

手順を事前にすり合わせる

理想の姿と比べ、作業の進め方をまとめるコミュニケーションがまだ不足していると感じます。ペア作業が多い現場では、パートナーとの情報共有が不可欠です。ミスを未然に防ぐ段階で「ここはこうしよう」と修正し合えるよう、作業中や休憩中も互いの意見を話すことを心がけていきます。

「一緒に働きたい」人物像に近づくために

今後の 行動と 意識

自己判断せず先輩に相談する

周囲から一緒に働きたいと思われるため、わからないことは早めの確認を徹底します。入社して3か月、前職の鉄筋工事と違い、内装仕上げは見た目の美しさが重視されるため、難しさを感じる毎日です。勝手な判断が失敗に繋がらないよう、必ず先輩に相談して作業する姿勢を継続します！

自分自身を振り返ると...？

視野の広さと心の余裕

理想の先輩と比べ、今の自分に足りないのは「視野の広さ」と「心の余裕」です。まだ入社して日が浅く、自分の作業で手いっぱいになると、目の前のことしか見えなくなってしまいます。優しい方は忙しくても周囲の様子を見に来てくれますが、私にはまだそこまで見渡す余裕がないのが実情です.....。

「一緒に働きたい」人物像に近づくために

今後の 行動と 意識

自ら歩み寄り信頼を築く

今後は自分の作業だけでなく、一緒に働く仲間や別の場所で作業するメンバーの様子にも気を配り、業務に取り組みます。危なそうな場面を見かけたら進んでフォローに入り、理想の先輩方に近づきたいと思います。そのために、まずは受け身にならず自分から話しかけ、壁のない相談しやすい雰囲気を作っていきます！

入社して間もない2人が考える「一緒に働きたい人」は、共有・相談がしやすい人。周囲への信頼を深めながら、そのような理想の人へと近づくために日々奮闘する姿を追いました！



たかはし
高橋
はるき
羽流生さん



みたむら
三田村
しんたろう
伸太郎さん

2人の今後の活躍に
さらなる期待が高まります！

夏原の職人さんの 素顔に迫る！一問一答

現場の第一線で活躍する職人の皆さんは、普段どのような素顔を持っているのでしょうか？仕事に対する真摯な姿勢から意外なプライベートまで、個性ある回答から職人たちの魅力に迫ります！

Q.職人歴
11年

Q.一番高い買い物
マイホーム！

Q.コンビニで
つい買うもの
アイス！暑いときは
仕事終わりに食べたら
最高です！

Q.好きな食べ物
ラーメン、お寿司、
焼肉！

Q.仕事のモットー
どのような現場でも、指摘
を受けないようにスピー
ディーに終わらせること！

Q.自分の性格
誰とでもコミュニケーションが
取れること！

Q.休日のリフレッシュ方法
家族で出掛けたり、
子どもと遊んだりすること！



こやま たくみ
小山 巧さん

Q.学生時代に熱中したこと
小学校～中学校では、ゲームをすること
と遊ぶことしかしていませんでした(笑)

Q.最近嬉しかったこと・面白かったこと
嬉しかったことは、最近子どもたちが相手にしてく
れることです(笑)面白かったことは、疲れていたせ
いか休みの日に服を裏表逆に着ていて、子どもたち
にツッコまれたことです！

Q.10万円もらったら使い道は？
宝くじを買います！
あと、家族で旅行に行きます！

Q.職人歴
21年

Q.仕事のモットー
「段取り」「品質」

Q.自分の性格
せっかち

Q.学生時代に
熱中したこと
仕事！

Q.一番高い
買い物
車！

Q.休日の
リフレッシュ方法
旅行！

Q.コンビニで
つい買うもの
コーヒー！

Q.好きな食べ物
ラーメン！



ながしま ゆうへい
長嶋 裕平さん

Q.最近嬉しかったこと
仕事が思い通りにできたとき！

Q.10万円もらったら
使い道は？
旅行！

▶次はあなたの番かもしれません！